

困ったときは

本機に異常や疑問がある場合は、下表より当てはまる内容を参照して、対処して下さい。

明確な回答が得られない場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

(1) 異常がある

想定原因	対処方法
電源が入らない	電源コードに抜けや断線がないか確認して下さい。 「ヒューズ(p.7-19)」を参照し、ヒューズが切れていないか確認し、切れている場合は「接地(アース)の取り付け不良」の恐れがあるので確認し、ヒューズを交換して下さい。 それでも電源が入らず、再びヒューズが切れる場合は「発振器」が故障している恐れがあります。
発振しない	テストスイッチで発振できた場合は、「外部接続レセプタクル」の故障か、外部装置か接続の不良の恐れがあるので確認して下さい。 テストスイッチでも発振できない場合は、「発振器」の故障している恐れがあります。 「振幅ボリューム」が最小になっている恐れがあります。ボリュームを上げて下さい。
超音波振動していない	超音波振動を肉眼で確認する事はできません。 確認するには、「動作確認(p.8-24)」より、振動子を手に持ち、発振 OFF 時と ON 時で切断の比較を行なって下さい。
超音波振動がおかしい	超音波振動を肉眼で確認する事はできません。 症状、異音、切断状況を確認の上、弊社までお問い合わせ下さい。
きれいに切断できない 切断できない	超音波カッターは何でも切断できる機械ではありません。基本的に通常のカッターで切断可能な素材は切断できますが、金属やガラスは振動が共振してしまい切断が困難な場合があります。(ガラス繊維はこの限りではありません) 「切断試験(p.8-26)」を参照し、最適な調整で切断して下さい。
超音波がうるさい 「ピー」という音がする	超音波カッターは文字通り、超音波を利用した振動で切断するカッターです。 超音波(20kHz 以上の周波数を指す)は人間には聞こえないとされていますが、聴覚に優れている人には聞こえる可能性があります。 振動子の先端部分にガタつきがなく、切断に影響がない場合は問題ありません。
超音波ではない音がする 「ギー」「ガー」「シャー」という音がする	部品が振動している恐れがあります。 振動子の先端部分にガタついている恐れがあります。ガタついていない場合は問題ありません。気になるようでしたら、弊社までお問い合わせ下さい。
超音波ではない音がする 「パチパチ」という音がする	振動子内部のユニットで電気的なショートをしている恐れがあります。 直ちに使用を止め、弊社までお問い合わせ下さい。

振動子先端がガタつく	振動子とケースを支えている「フランジ」部品が劣化、摩耗している恐れがあります。フランジは部品交換ができないため、修理対応になります。弊社までお問い合わせ下さい。
振動子を落とした	振動子は精密機械です。衝撃によって故障する恐れがあります。「動作確認(p.8-24)」より、動作確認を行なって下さい。異音や部品にガタつきがある場合は、弊社までお問い合わせ下さい。
刃物が折れた	刃物は消耗品です。刃物が摩耗し、刃物に掛かる負荷(負担)が大きくなり、破損する場合があります。「振動子の保守(p.7-20)」に従い、刃物を交換して下さい。新品の刃物でも直ぐに折れてしまう場合は、ワークの素材と先端部品の使用状況を確認の上、弊社までお問い合わせ下さい。
刃物の残像が目に見えるほど振動している	超音波振動を肉眼で確認する事はできません。振動しているのが明らかに見える場合は、刃物が異常に振動している恐れがあります。「振動子の保守(p.7-20)」に従い、 刃物以外の部品も交換 し、動作の確認をして下さい。
刃物の種類を変更したい	振動子が刃物に取り付けられても、発振器の調整が刃物に合わない恐れがあります。弊社までお問い合わせ下さい。
自作の刃物を取り付けて使用したい	弊社の純正品でない刃物及び部品は使用出来ません。超音波の条件を満たせなくなり、正常には使用できなくなります。弊社ではご要望に合わせた特注部品や特注刃物を作成していますので、弊社までお問い合わせ下さい。
ブレードロックネジが折れた	ブレードロックネジは消耗品です。使用していくにつれて劣化し、負荷が高くなり、折れやすくなります。「ブレードロックネジ(型番:7522)」を使用し、刃物交換 2 回に 1 回の交換を推奨します。
ホルダを追加加工したい 削りたい 削れた	刃物だけでなく、ホルダも超音波振動によって振動しています。追加加工によって、超音波の条件を満たせなくなり、正常には使用できなくなります。追加加工はしないで下さい。接触等の原因で多少削れた場合、「動作確認(p.8-24)」より、動作確認を行なって下さい。そのまま使用し続けると故障の原因になりますので、ホルダの予備を用意すると共に、注意しながら使用して下さい。
ホルダが割れた 折れた	ホルダは消耗品です。「振動子の保守(p.7-20)」に従い、ホルダを交換して下さい。ホルダが劣化する原因は発熱であることが多いです。「冷却エア(p.10-32)」より、エア流量を確認して下さい。新品のホルダでも、直ぐに割れや折れが発生する場合は、ワークの素材と先端部品の使用状況を確認の上、弊社までお問い合わせ下さい。
ホルダが変色している 焼けている	「刃物」だけでなく、「ホルダ」と「ブレードロックネジ」も超音波振動します。振動による摩擦熱によって、熱を帯びて変色する事があります。「冷却エア(p.10-32)」より、エア流量を確認して下さい。

ホルダカバーを緩められない 取り外せない	「振動子の保守(p.7-20)」より、ピンスパナで取り外して下さい。ピンスパナは標準で付属していません。ご購入の際は、弊社までお問い合わせ下さい。
コードを切ってしまった 破けた 電源コード 振動子接続コード 外部接続 A/B	直ちに使用を止め、弊社までお問い合わせ下さい。 感電や故障の原因になる恐れがあります。
振動子を水や油で水没させた	振動子は精密機械です。直ちに使用を止め、弊社までお問い合わせ下さい。
振動子ケースが歪んだ	多少の凹みでは使用可能です。異常がある場合は、弊社までお問い合わせ下さい。
本機から煙が出ている	発振器や振動子本体から煙が出ている場合は、直ちに使用を止め、弊社までお問い合わせ下さい。
振動子先端やワークから煙が出ている	超音波振動の摩擦熱により、ワークと刃物の間で発煙している恐れがあります。 使用状況を確認の上、「切断試験(p.8-26)」より、目的に合った切断を行なって下さい。
エラー	「エラーランプ」が点灯している場合は、「エラー詳細ランプ」よりエラーの箇所を特定し、対処して下さい。
エラーから復帰したい	エラー復帰は電源を再投入にするか、「エラー復帰(p.10-39)」より復帰できます。エラー復帰を連続で行わずに、5秒間待ってから行なって下さい。
発振器のランプ点灯しない	発振器のランプが故障している恐れがあります。弊社までお問い合わせ下さい。

(2) エラーランプが点灯している

想定原因	対処方法
エラー詳細ランプが点灯 O/L	「O/L」は振動子による過負荷でエラー停止している事を表しています。 「過負荷停止している(p.11-43)」より、過負荷の原因に対処して下さい。
エラー詳細ランプが点灯 O/L OSC	「O/H OSC」は発振器が異常発熱している事を表しています。 電源を OFF にし、発振器の冷却性に問題がないか、ファンの状態を確認して下さい。 発熱が収まれば、使用可能です。
エラー詳細ランプが点灯 O/H TRD	「O/H TRD」は振動子が異常発熱、または未接続である事を表しています。 電源を OFF にし、「冷却エア(p.10-32)」と「発振器との接続(p.10-32)」より、振動子の冷却性に問題がないか確認して下さい。 発熱が収まるか、接続されれば、使用可能です。

(3) 過負荷で停止している

過負荷を起こした時の状態が、想定原因に当てはまるか確認して下さい。

対処方法を試しても、過負荷から復帰できない場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

想定原因	対処方法
本機では切断できないワーク。 材質が金属やガラスである。または、その材質がワークに含まれている。	金属やガラスは超音波の性質上、切断が困難です。 切断できても、刃物や部品の摩耗し易くなります。
切断の条件が厳しい。送り速度が速い。	送り速度が速い分、振動子に掛かる負荷が増えています。送り速度を落として使用して下さい。
振動子の進行方向(送り)に対して刃物の方向が合っていない。	刃物の刃付け部分が正常に機能せず、負荷が高くなっている恐れがあります。振動子の取り付けを確認し、調整してから使用して下さい。
刃物が治具やフレームに接触している。	刃物がワーク以外を接触していないか確認し、接触しないように使用して下さい。
ホルダやブレードロックネジの部分がワークに接触している。	先端部品にワークの擦れや溶けがないか確認し、接触しないように使用して下さい。
刃物が不良である。割れ(クラック)、刃欠け、摩耗がある。	刃物の状態を確認し、必要であれば「振動子の保守(p.7-20)」より、振動子の保守を行なって下さい。
刃物にワークの汚れ(かす)が付着している。	刃物の質量や形状が変わることによって、超音波振動の共振に影響が出ます。 定期的に刃物に付着した異物を取り除いて下さい。
部品が不良である。割れ(クラック)、摩耗がある。	振動子先端の部品に異常がないか確認し、必要であれば「振動子の保守(p.7-20)」より、振動子の保守を行なって下さい。
ホルダやブレードロックネジの取り付けに不備がある。異物混入、締め付け不良。	部品には、それぞれ締め付けトルクが指定されています。「振動子の保守(p.7-20)」より、振動子の保守を行なって下さい。
弊社以外の刃物や工具、部品を取り付けている。	弊社の純正品でない刃物及び部品は使用出来ません。超音波の条件を満たせなくなり、正常には使用できなくなります。 弊社ではご要望に合わせた特注部品や特注刃物を作成していますので、弊社までお問い合わせ下さい。